

家庭・福祉・教育・公共の場で適切な対応をするために

チック・トゥレット症 を知ってください



四国巡業お話し会
23(土) 愛媛
24(日) AM 香川
PM 徳島

お話し会&
情報交換会

2019年**3/21**(木・祝) 14:00~(約2時間)

【会場】高知県立県民文化ホール4階 第6多目的室

【参加費】**無料** 【募集】**70人** 【主催】「トゥレット症」理解啓発活動をする母 **福井ちはる**

【申込締切】**3/19(火)** 下記メールかFAXにてお名前・ご連絡先・人数をお知らせ下さい。

【申込先 福井宛】メール ●39ohenro@gmail.com FAX ●045-330-8313

■ トウレット症 (チック症状)

※下記表は一例です

「チック」は自分の意志に関係なく、突然に出現し素早く繰り返されるもので、簡単に止められません。複数の運動チックと1つ以上の音声チックが、始まってから1年以上持続しているものが「トゥレット症候群」と定義され、一人ひとり症状は異なり、年齢・季節・時期などでも大きく症状は変化することがあります。

	運動チック	音声チック
単純チック	突発的で素早い動き ・ぴくつきがある・肩すくめ・首ふり・まばたき ・顔しかめ・白目をむく・歯ぎしり・手を動かす	発声に関わる筋肉群に作用して起こるチック ・咳払い・鼻鳴らし・奇声・動物のような大きな声 ・「あっ」「うっ」「ちえ」などの単音の声
複雑チック	やや動きが遅く、一見目的があるような動き ・顔の表情を変える・飛び跳ねる・匂いをかぐ ・唇をなめる・モノや人に触る・自傷的な動き	汚言症 (コプロラリア) 不謹慎な言葉や卑猥な言葉を使う 反響言語 (エコラリア) 他人の言葉を繰り返す 反復言語 (パリラリア) 自分の言葉を繰り返す

■ 認知度が低い為に、困っていることが沢山あります

医療の場で正しい診断が得られなかったり

学校で逆効果の対応をされたり

公共の場で白い目で見られたり

「いじめ」を受けたり、周囲の誤解からでた発言で傷ついたりすることが少なくありません。

■ ハンドブックを持参し、ご紹介します！

NPO 法人日本トゥレット協会が2018年3月に「チック・トゥレット症ハンドブック - 正しい理解と支援のために -」を発行しました。子ども時代から青年期以降に及ぶ対応方法。福祉サービス、就労について等、様々な情報を各専門の医師・先生・理事の方々がまとめて下さいました。私はデザイナーとして読みやすいページ制作に協力させていただきました。皆様のお役に立てれば幸いです。



■ 併発症状・特性がある場合は、そのケアも重要です。

強迫性障害、ADHD、LD、不安障害、睡眠障害、怒り発作といった症状を高率で併発します。その為、QOL(生活の質)が低下し生活しづらくなるケースもあります。対応を間違えるとチックがひどくなることもあるので、特性をよく観察し理解した上で適切な対応が重要です。チックは「心因性のもの」「親の育て方のせい」と誤解されることが多く、本人や家族は辛い思いをしています。社会の正しい理解が一番のサポートです。

連絡先：福井ちはる 〒226-0013 横浜市緑区寺山町 183-8-E105 TEL: 090-9318-3911 メール: 39ohenro@gmail.com

2014年10~12月に、娘の状態・特性をどうにかしてあげたいと焦る気持ちと、どうにもならない自分を見失い、遍路道を歩かせていただきました。落ち着いて考え、個人の問題としてふさぎ込むのではなく、この症状をもっと社会に知ってもらおう働きかけをしていくことが大切なのではないかと気づき、ご恩返しのご感謝の気持ちで四国トーク行脚をさせていただいています。